

加茂青砂集落は男鹿半島の南海岸中央部に位置し、日本海に向け、手首を合わせて両手を開いたような湾沿いにあります。途中、秋田県道からは、集落が突然、ぽっかりと望めます。振り返ると、小高い丘が迫ってきます。太陽も月も目の前の水平線に沈むこの地には、50世帯の家々が建ち並び、150人が住んでいます。季節ごとの漁に励み、海藻を保存食にし、耕した畑で採れた旬の野菜が食卓を飾ります。暮らしに欠かせないのが、手作りの工芸品。日々の営みをいくらかでも伝えたい—の思いを込め、みなでせっせと作った数々を、ぜひ手にしてみてください。

加茂青砂集落



ズドーン。シケる
加茂青砂の海岸

あきた元気ムラ男鹿半島・加茂青砂集落

かもあおさ

海藻のエゴは何度も海水にさらして脱色



未明、満月は水平線に向かい、



夕、太陽は水平線に沈む



凍てつく海とウミネコ



疾走する
なまはげ

かもあおさ笑楽校の体験教室から



見上げれば満開のヤマザクラの春

2001年に閉校した加茂青砂小学校（国の登録有形文化財）は「かもあおさ笑楽校」の愛称で、体験教室を開くなど、今も校舎に歓声が響き渡っている。



堀井学撮影

